

A型事業所好事例報告フォーラム ～よきA型を目指した経営～

# ～ぷろぼのが目指す人・組織・地域づくり～



ぷろぼの食堂

ぷろぼの probono publico  
ラテン語で「公共善、よき社会の実現」

奈良 社会福祉法人ぷろぼの  
理事長 山内 民興

## 理念

誰もが自立した生活ができる地域社会づくりを目指します。

- ・ 古都奈良の地を大切にします。
- ・ 人にやさしい福祉ごころを育みます。
- ・ 夢と勇気を持って日々努力します。

就労移行

自立訓練

A型・B型

放課後デイ

相談事業

- 2006年 「NPO法人地域活動支援センターぷろぼの」を設立  
就労移行事業、A型及びB型事業
- 2016年 福祉型事業協同組合「あたつく組合」を設立  
(あたらしい・はたらくをつくる・福祉型事業協同組合)  
CLT工法による木造5階建ての福祉ビル」を建設  
デザイン振興会のDesign @ Communities Award 2017大賞
- 2017年 ソフトバンク社と連携してPepper10台を開発運用  
第18回小倉昌男賞を受賞
- 2018年 三菱財団社会福祉研究を受託、  
AI就労支援システムを開発中  
京都、三重に事業所を開設

## ▽基本方針

「福祉を科学する」 細やかな日々の福祉支援に取り組む

科学するとは、“見ること×知ること×伝えること”を体系的に実施する

## ▽福祉方針

魅力ある福祉事業に取り組む

- ・ 職員は利用者の目線で福祉支援をする
- ・ 職員は利用者対応に多くの時間を費やす
- ・ 職員は法人の総合力を活用した支援をする
- ・ 職員は利用者の働く可能性を広げる支援をする
- ・ 職員はリアルな報連相を密にする

現場の支援  
を最優先

## ▽テーマ

「育ちあう福祉」

利用者+職員+地域が“お互い様の気持ち”で共に育ちあう



障害者が **A型・働く場** にもとめること

- ・ 希望する職種であること
- ・ 雇用条件の提示と改善があること
- ・ 意見交換や面談がある職場であること
- ・ 経営者や同僚、顧客から評価される仕事であること
- ・ 仕事が社会的な貢献になること

背中を押すタイミング

キャリアプランに沿った働き方を望む

人は社会的な生き物なので  
はたらくことで成長し、新たに社会の役割を得る。

「企業」は、労働によって社会に貢献すること

「福祉」は、健全な社会人を育成し安全な社会をつくること

私たちにとって **はたらくこと** は、  
人らしく日々を生きるための大切な行いなのです。

A型事業の利用は、法人の移行事業の利用者 とする

移行事業の修了者



実習を経て推薦で採用



就職・自営の支援

職員へ登用制度あり

社会人スキル・障害受容

週に4日以上働ける方

Web、DTP、入力スキル

事務、指導、PCスキル

精神・発達

知的も2名

20～40才



テレワーク就職者

年間1,000案件

専門企業と連携

パンフ・  
チラシ制作

パソコン  
メンテ

HP・EC制作

調査・分析

データ入力

会計処理

健康の維持

生活の安定

専門性の育成

29年度A型事業収支	
就労事業収入	69,373,442円
就労事業支出 ・人件費総額 ・人件費比率	72,890,733円 (42,314,686円) 58%
就労適応率	<b>95.2%</b>

30年度A型事業収支	
就労事業収入	73,720,463円
就労事業支出 ・人件費総額 ・人件費比率	74,477,842円 (46,345,150円) 62%
就労適応率	<b>98.9%</b>

奈良県最低賃金 811円

A型平均給与 129,806円 (日額:7,347円、時給:1,084円)

A型の方 20名 5日/週 7.3時間/日

## 今後のひろぼの

ロボテックス事業

支援記録のAI処理

テレワーク事業

人材の育成事業